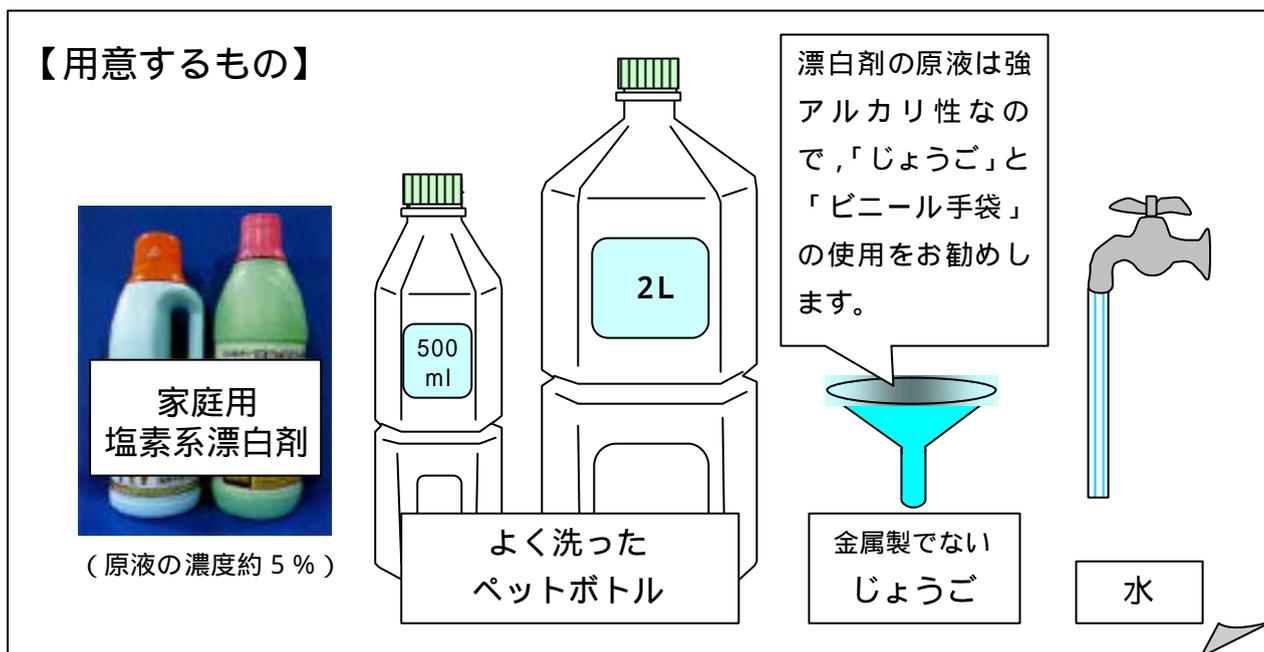


家庭でできる！

ペットボトルを使った消毒液の作り方

ノロウイルスの感染力を失わせるには、**加熱**や**次亜塩素酸ナトリウム**が有効です。
 次亜塩素酸ナトリウムは、市販の「家庭用塩素系漂白剤」にも含まれています。
 ここでは、代表的な「家庭用塩素系漂白剤（原液に含まれる次亜塩素酸ナトリウムの濃度約5%）」を使った消毒液の作り方をご紹介します。



便やおう吐物が付着した床、衣類，トイレなどの消毒をする場合...
 濃度が **0.1% (1,000ppm)** の消毒液を作ります。

おもちゃ，調理器具，直接手で触れる部分などの消毒をする場合...
 濃度が **0.02% (200ppm)** の消毒液を作ります。



作った消毒液は，時間の経過とともに効果が減少していきます。こまめに作って使い切ってください。（原液は，密封のうえ，冷暗所で保存してください。）
 汚れた雑巾を消毒液の中に入れると，次亜塩素酸ナトリウムを消費して消毒効果が著しく減少します。バケツなどに消毒液を入れて使う場合は1回ごとに入れ替えてください。

ご注意！
間違って飲まないよう、ペットボトルの取り扱いは気をつけてください！

消毒液を入れたペットボトルは **消毒液・飲用不可** 等の表示をして乳幼児の手の届かない場所に保管するなど，誤飲を防ぎましょう。

0.1% (1,000ppm) 消毒液の作り方

0.02% (200ppm) 消毒液の作り方



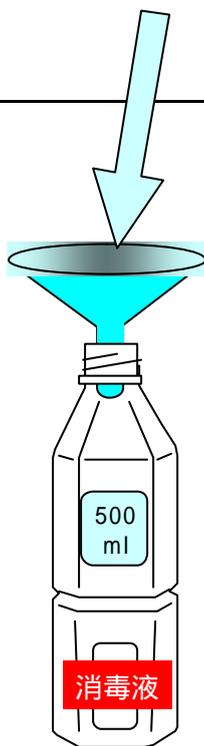
ペットボトルの
キャップ2杯
(5ml × 2 = 10ml)

家庭用
塩素系漂白剤



ペットボトルの
キャップ2杯
(5ml × 2 = 10ml)

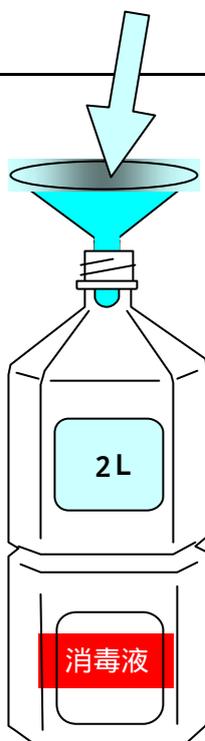
家庭用
塩素系漂白剤



まず、500 ミリリットルの
ペットボトルに、水を半分
くらい入れておきます。
そこへ、原液 10 ミリリッ
トルを入れます。
最後に水を加えて、全体を
500 ミリリットルとしま
す。

ふたをして、よく振って
混ぜ合わせてください。

(10ml × 約 5% / 500ml = 約 0.1%)



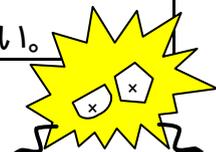
まず、2 リットルのペット
ボトルに、水を半分くらい
入れておきます。
そこへ、原液 10 ミリリッ
トルを入れます。
最後に水を加えて、全体を
2 リットルとします。

ふたをして、よく振って
混ぜ合わせてください。

(10ml × 約 5% / 2000ml 約 0.02%)

【消毒液（次亜塩素酸ナトリウム溶液）を扱うときの注意】

- ・使用する時は換気を十分に行ってください。
- ・有毒な塩素ガスが発生しますので、酸性のものと絶対に混ぜないでください！
- ・皮膚への刺激が強いので、直接触れないよう、ビニール手袋などを使用してください。
- ・皮膚に付着した場合は、直ちに大量の水で十分洗い流してください。
- ・目に入った場合は、直ちに大量の水で十分洗い流し、医師の診察を受けてください。
- ・消毒液は、濃度が高いほどノロウイルスに対して有効ですが、反面、金属が錆びたり、漂白（変色）作用が強くなったりしますので、注意してください。
- ・金属に使用した場合は、消毒後、水で洗い流すか、ふき取るなどしてください。



作成した消毒液の濃度の確認方法

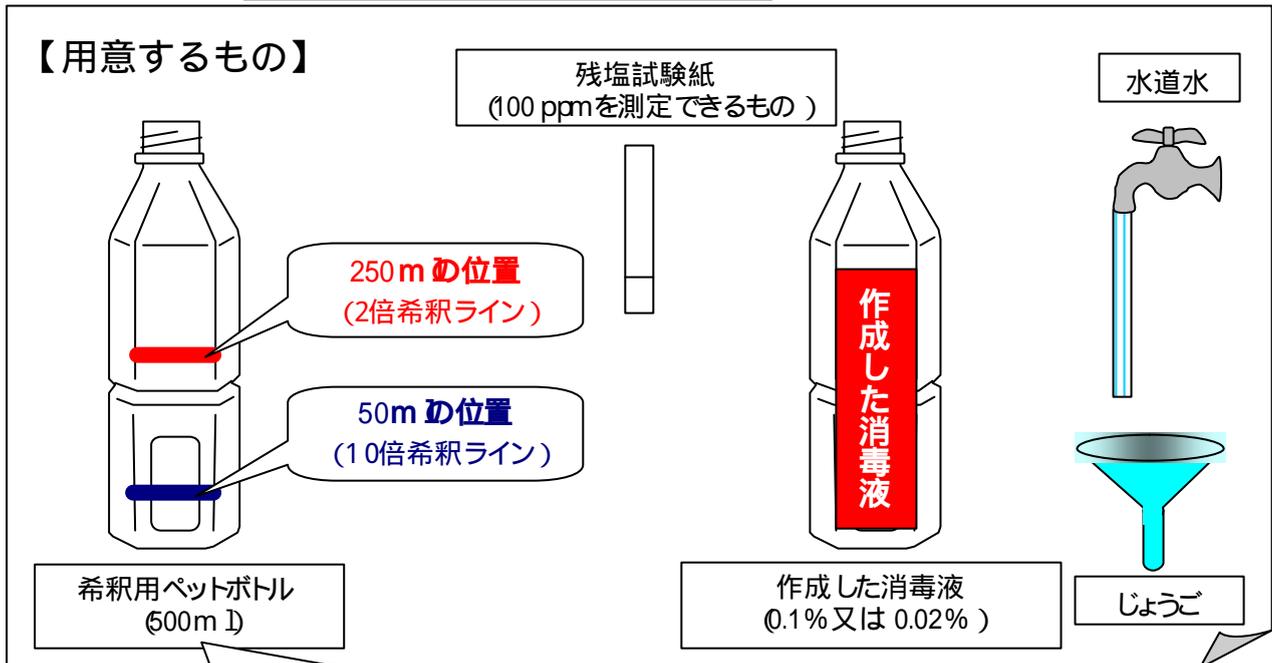
作成した消毒液の濃度が適正であるかどうか、使用のつど確認しましょう。

複数のメーカーが市販している **残塩（残留塩素）試験紙** を使用して確認できます。残留塩素濃度の測定範囲は様々なタイプがありますので、希釈倍率に応じて使い分けしてください。 **残留塩素計** で確認することも可能です。

【確認例】

ここでは、**100ppm を測定できる残塩試験紙** を使用した確認法を紹介します。

【用意するもの】



よく洗った 500ml のペットボトルに、計量カップなどを使用して「50ml」と「250ml」の位置を決めて、マジックなどで目印となるラインをつけてください。

確認方法

0.1% (1000ppm) 消毒液の濃度を確認する場合

じょうごを使用し、希釈用ペットボトルに 0.1% (1000ppm) 消毒液を 50ml の位置 (10倍希釈ライン) まで入れたあと、水道水を加えて全体を 500ml にしてキャップを閉め、軽く振ってください。

ボトルのキャップを開け、**残塩試験紙** を入れ、濃度を確認してください。

色の値が 100ppm 以上を示せば、消毒液の効果が期待できます。

0.02% (200ppm) 消毒液の濃度を確認する場合

じょうごを使用し、希釈用ペットボトルに 0.02% (200ppm) 消毒液を 250ml の位置 (2倍希釈ライン) まで入れたあと、水道水を加えて全体を 500ml にしてキャップを閉め、軽く振ってください。

ボトルのキャップを開け、**残塩試験紙** を入れ、濃度を確認してください。

色の値が 100ppm 以上を示せば、消毒液の効果が期待できます。